

太平洋のホットスポット キラウエア



1. Pu'u 'O'o 火道から噴出する溶岩流, 1984年1月31日撮影



2. (上)Pu'u 'O'o 火道から噴出するドーム状の溶岩噴泉(高さ約100m), 1986年6月2日撮影

3. (下)Lava bubble (溶岩の泡)の破裂(左右約2m), Kapa'ahuにて1988年10月5日撮影



4. (上)Royal Gardens の道路を寸断した溶岩, Kalapanaにて1990年5月16日撮影

5. (下)道路を横断し、海(遠景)に向かって流れた溶岩, 1990年2月21日撮影



6. (上) 太平洋に流れ込む溶岩流。Kapa'ahuにて1989年12月27日撮影



7. (下) 海水に触れて爆発する溶岩。Kapa'ahuにて1988年2月3日撮影

ハワイ-天皇海山列南東端にあるハワイ島のキラウエア火山は、地球上で最も活動的な活火山の一つであり、大量の玄武岩質溶岩を噴出してきた。山頂部のカルデラから東北東にのびるイーストリフトゾーン(山腹割れ目噴火帯の一つで近年の噴火活動の中心)の中央部で1983年1月に始った噴火は、現在も活発に続いている。山体南面を流れ下った溶岩は家や道路を被い、一部は海に達してマグマ-水蒸気爆発をおこした。写真: J. D. Griggs

(地質ニュース編集委員会 佐藤興平・米国地質調査所ハワイ火山観測所(U. S. Geological Survey Hawaiian Volcano Observatory) J. D. Griggs)